

一般国道20号 長野県諏訪市～下諏訪町間
す わ し し も す わ ま ち
計画段階評価
第3回 説明資料

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 地域の意見聴取(第2回)の内容について | ・ ・ ・ 1 |
| 2. 地域の意見聴取(第2回)の結果について | ・ ・ ・ 5 |
| 3. 対応方針(案)の検討 | ・ ・ ・ 26 |

平成28年4月12日 関東地方整備局

1. 地域の意見聴取(第2回)の内容について

1-1. 意見聴取概要

2

■意見聴取期間

平成26年9月11日(木)～10月10日(金)

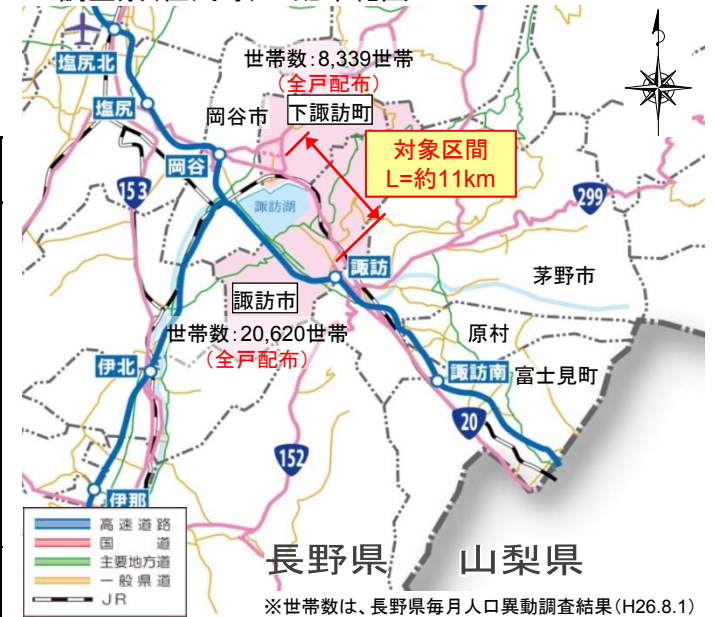
■調査票形式、ヒアリング調査の実施状況

調査票形式			配布数		回収数 (カッコ内)は回収率	
住民等	郵送 全戸配布	諏訪市	24,215部 (20,620世帯)	合計 32,948部 (28,959世帯)	6,387部 (19%)	回収数計 6,809部
		しもすわまち 下諏訪町	8,733部 (8,339世帯)			
	留置き	周辺市町村の市役所・町役場・村役場 (岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、 富士見町、原村の6箇所)	合計 400部		71部	
	Web	一般の意見を聴取			351部	
事業者	郵送	諏訪市、下諏訪町の商工会 会員企業	445社	合計 593社	173社 (29%)	
		諏訪市、下諏訪町の観光協会 会員企業	133社			
		諏訪トラック協同組合 組合企業	15社			

※世帯数は、長野県毎月人口異動調査結果(H26.8.1)

オープンハウス			実施状況	ヒアリング調査		実施状況
住民等	諏訪市	諏訪市公民館	1回	事業者	製造業・物流業（諏訪市・下諏訪町の商工会議所、諏訪地域トラック協同組合）	3社
		スワプラザ1F	1回		観光業・宿泊業（諏訪市・下諏訪町の観光協会、温泉旅館組合）	3社
	下諏訪町	下諏訪総合文化センター	2回		警察・消防・医療機関（警察署、消防署、病院）	3社
					公共交通機関（鉄道会社、バス会社、タクシー会社）	3社
	計		4回		計	12社

■調査票(住民等)の配布範囲



■ヒアリング調査箇所(拡大図)



1-3. 地域への情報提供(オープンハウス)

4

- ◆ 一般国道20号(長野県諏訪市～下諏訪町間)のオープンハウスは計4回開催し、地域住民と直接的な対話をするこ
とにより、情報発信と地域住民の意見把握をすることを目的に実施。
- ◆ 諏訪市、下諏訪町の公共施設で延べ4日間実施し、合計32人の来訪。

■オープンハウスの実施概要

実施日時	場所	来訪者
平成26年 9月 17日(水) 15:00～20:00	諏訪市公民館(諏訪市)	9人
平成26年 9月 28日(日) 10:00～17:00	スワプラザ1F(諏訪市)	9人
平成26年 9月 21日(日) 10:00～16:00	下諏訪総合文化センター(下諏訪町)	8人
平成26年 9月 25日(木) 15:00～20:00	下諏訪総合文化センター(下諏訪町)	6人
合計		32人

前回(104人)

■オープンハウスの説明用パネル

3. ルート検討で重視すべき項目について

諏訪地域における商業目的を達成するための機能を有する道路として、ルート検討(案) (500m幅) を作成しました。また、「環境配慮」「風景形成(ルート)」についても、比較評価を行いました。

1. 計画の概要について

一般国道20号の諏訪地域において、「環境配慮型」の計画が求められていますが、その際の道路幅員から下諏訪町内市街地内においても、交通や商業等の機能が果たされるため、その際に必要な道路幅員の検討を行っています。

2. 今後の進め方について

意見の聴取と評価、ルート検討、環境配慮、風景形成の検討、ルート決定の順に進みます。

4. 第2回地域の意見聴取について

皆さまの意見をお聞かせください

一般国道20号の諏訪地域におけるルート検討で重視すべき項目について、諏訪地域にお住まいの皆さまの意見をお聞かせください。

下の回答方法を参考にしてください。

実施期間 平成26年 9月 11日(木) から 10月 10日(金) まで

回答方法

- 意見付けの質問用紙をご用意ください。(回答用紙) に記入し、所収の郵便箱に入れてください。
- 意見の記入は、意見用紙の裏面に記入してください。裏面には、意見の記入欄があります。
- 意見の記入は、意見用紙の裏面に記入してください。裏面には、意見の記入欄があります。

その他の回答方法

- 意見用紙・下諏訪町にお住まいの方
- 意見用紙・下諏訪町にお住まいの方
- 意見用紙・下諏訪町にお住まいの方

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所 計画課

〒380-0802 長野県長野市中央1-45
電話: 026-264-7099 (直通)
FAX: 026-264-7099 http://www.ktr.mhl.go.jp/nagano/

■オープンハウスの実施状況



オープンハウス実施状況
9/17(水)諏訪市公民館(諏訪市)



オープンハウス実施状況
9/28(日)スワプラザ1F(諏訪市)



オープンハウス実施状況
9/21(日)下諏訪総合文化センター
(下諏訪町)



オープンハウス実施状況
9/25(木)下諏訪総合文化センター
(下諏訪町)

2. 地域の意見聴取(第2回)の結果について

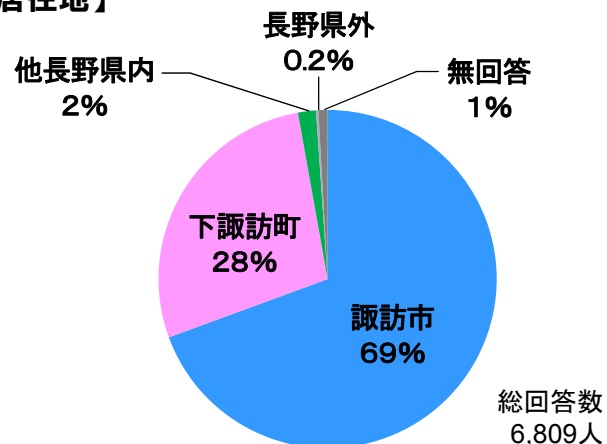
2-1. 意見聴取の結果 住民等

6

- ◆「地域の意見聴取」の全回収数は6,809人で、郵便はがき6,387人、留置き71人、Web調査351人が回答。
- ◆回答者の地域区分は、諏訪市が約7割、下諏訪町が約3割と配布部数に概ね比例。
- ◆郵便はがきの回収率をみると、諏訪市が18%、下諏訪町が21%で、回収率は概ね同数。

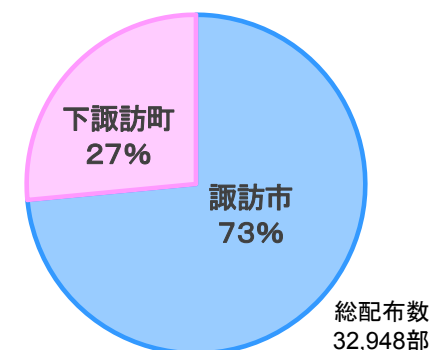
回答者の地域区分

【居住地】



【参考】郵便による調査票の配布状況

郵送配布数の地域区分

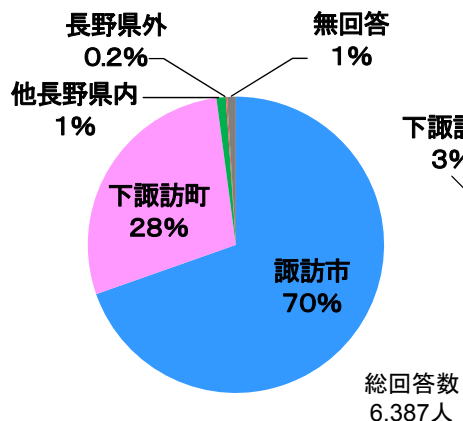


【居住地(郵便はがき)】

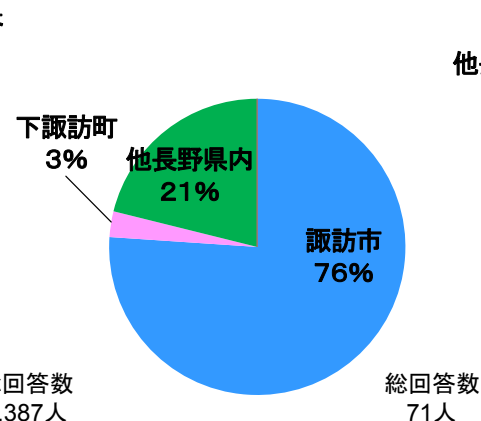
回収数と回収率

市町名	配布数	回収数	回収率
諏訪市	24,215部	4,444人	18%
下諏訪町	8,733部	1,806人	21%
合計	32,948部	6,250人	19%

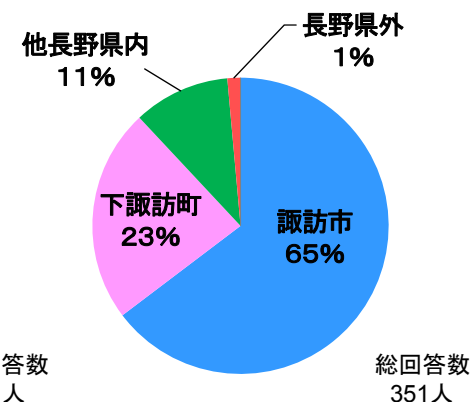
【居住地(郵便はがき)】



【居住地(留置き)】



【居住地(Web)】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

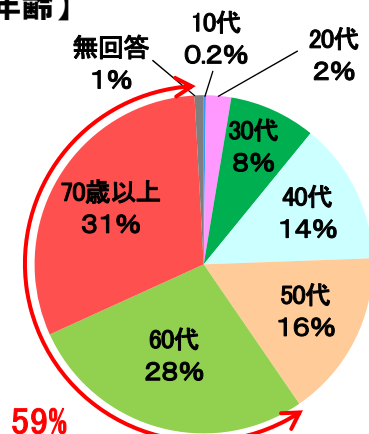
2-1. 意見聴取の結果 住民等(地域区分・属性)

7

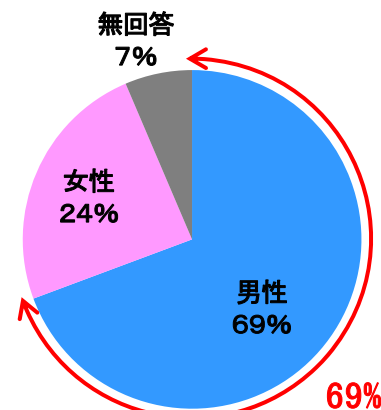
- ◆ 回答者の属性として、地域の実態と比べ、60代以上の高齢者が約6割と高く、約7割の回答者が運転免許を保有。
- ◆ 回答者の性別は、男性が約7割と高く、世帯を対象とした配布のため、世帯主が多く回答した可能性。

回答者属性

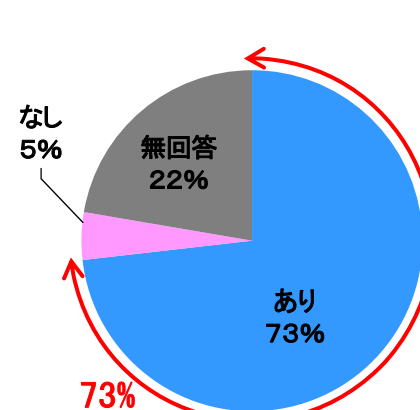
【年齢】



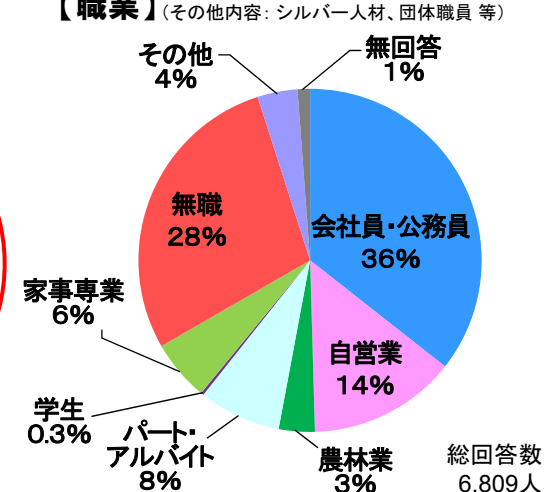
【性別】



【自動車運転免許】



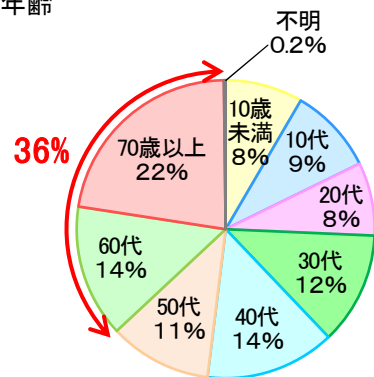
【職業】



【参考】諏訪市・下諏訪町の人口データ

人口：諏訪市50,097人、下諏訪町20,708人(H26.9.1)

年齢

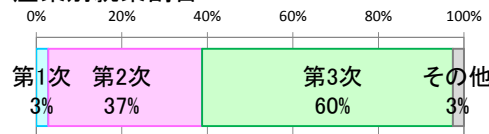


資料) 長野県毎月人口異動調査(H26.4.1)

就業率

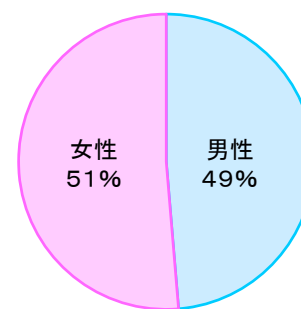
	就業者数	就業率
諏訪市	25,954人	59.1%
下諏訪町	10,333人	54.7%

産業別就業割合



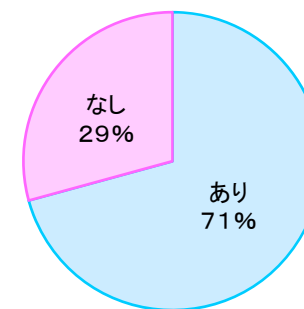
資料) 就業率：就業者数／国勢調査15歳以上人口(H22.10.1)
産業別就業者割合：H22国勢調査

性別



資料) 長野県毎月人口異動調査(H26.9.1)

運転免許保有(※長野県全域)



資料) 長野県警察本部HP(H26.6月末)

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

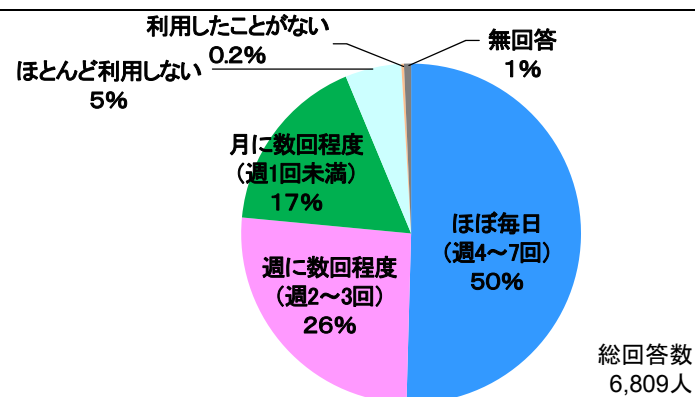
2-1. 意見聴取の結果 住民等(利用頻度・目的・手段)

8

- ◆利用頻度では、回答者の約5割が国道20号を「ほぼ毎日」利用と回答。
- ◆利用目的では、「通勤・通学」が約3割、「仕事」が約2割で合わせて約5割、「日常的な買い物・食事など」が約5割。
- ◆利用手段では、回答者の約9割が「自動車利用」と回答。

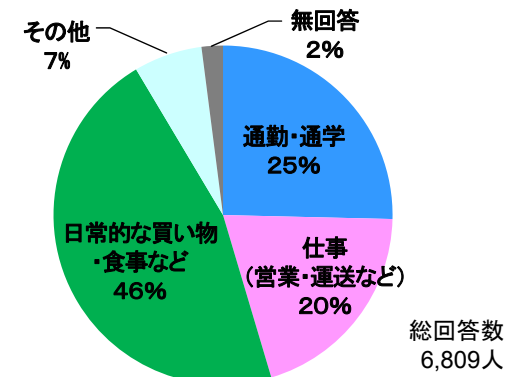
国道20号の利用頻度

【質問①】 ふだん、諏訪地域内の国道20号をどの程度利用していますか？
【単一回答】



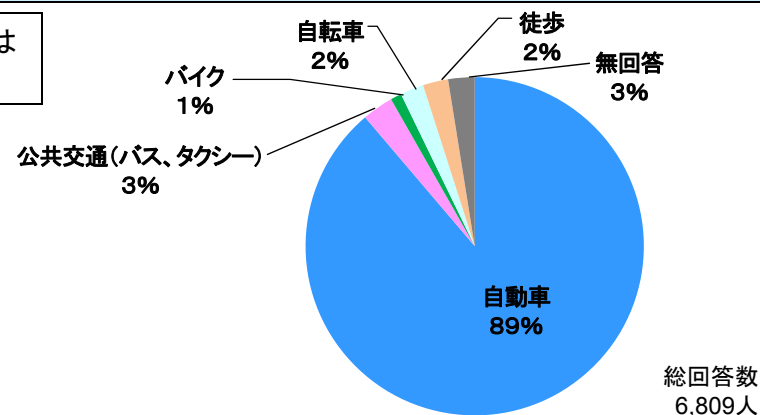
国道20号の利用目的

【質問③】 諏訪地域内の国道20号を通行する際に、最も多い目的は何ですか？
【単一回答】



国道20号の移動手段

【質問②】 諏訪地域内の国道20号を通行する際に、主な移動手段は何ですか？
【単一回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

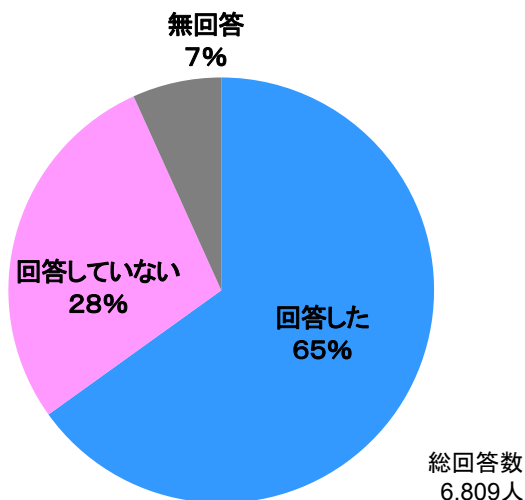
2-1. 意見聴取の結果 住民等(第1回地域の意見聴取)

9

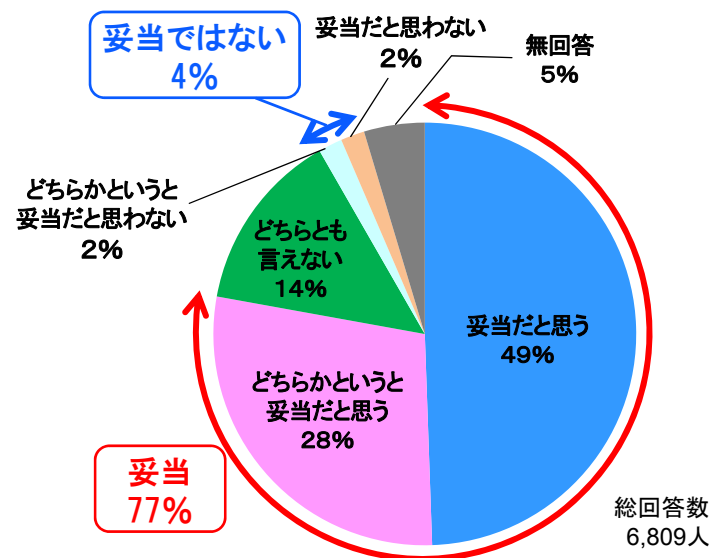
- ◆ 第1回地域の意見聴取も回答している人は、全体の約7割。
- ◆ 「妥当だと思う」と「どちらかという妥当だと思う」の合計が約8割、一方で「妥当だと思わない」と「どちらかという妥当と思わない」の合計が1割未満。

第1回地域の意見聴取について

【質問④】A 第1回地域の意見聴取(H26.2～H26.3)のに回答しましたか？
【単一回答】



【質問④】B 第1回地域の意見聴取(H26.2～H26.3)の結果は妥当だと思いますか？
【単一回答】



【質問⑤】 妥当だと思わない理由について

分類	結果が妥当だと思わない主な理由	※自由意見総記入数 192件
現状の道路で十分・必要性を感じない 【93件】	・一時的な混雑はあるものの、少しの不便は我慢の域であると思わないといけない。 ・人口減、諏訪経済の縮小する中、将来を見据えればバイパスは全く必要ない。現在の一時的な局面だけで判断すべきでない。	
アンケートの方法及び結果が妥当でない 【53件】	・新しくバイパスを作ること前提としたアンケートに意味があるとは思えない。 ・回収率24%では住民の意見が十分くみとれているとは思わない。	
その他 【46件】	・地域の状況から山を通るルートは反対、直線で諏訪湖を橋で渡ること。 ・1回目の内容を知らない。説明不十分だと思う。	

2-1. 意見聴取の結果 住民等（第1回地域の意見聴取）

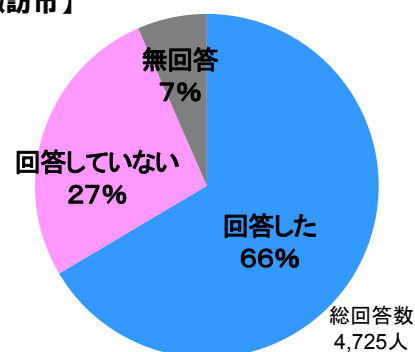
10

- ◆ 第1回地域の意見聴取は、諏訪市・下諏訪町とも約7割が回答。一方、その他長野県内・長野県外では、「回答していない」方が「回答した」を上回る。
- ◆ 結果の妥当性では、「妥当だと思う」と「どちらかという妥当だと思う」の合計が7割以上で、地域による差異はあまりない。

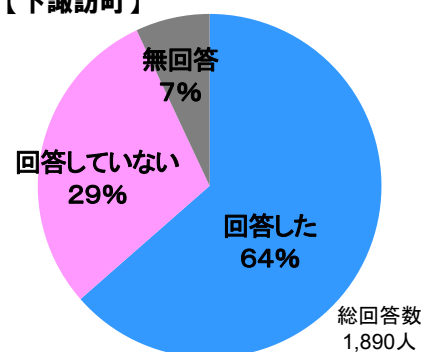
第1回地域の意見聴取について

【質問④】A 第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）のに回答しましたか？【単一回答】

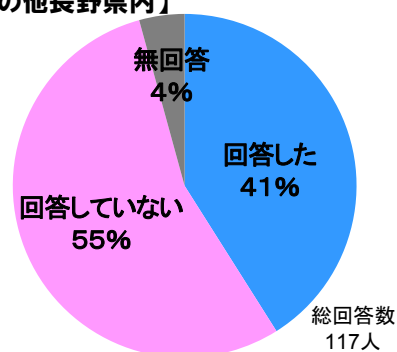
【諏訪市】



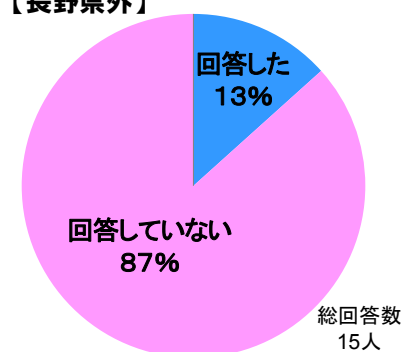
【下諏訪町】



【その他長野県内】

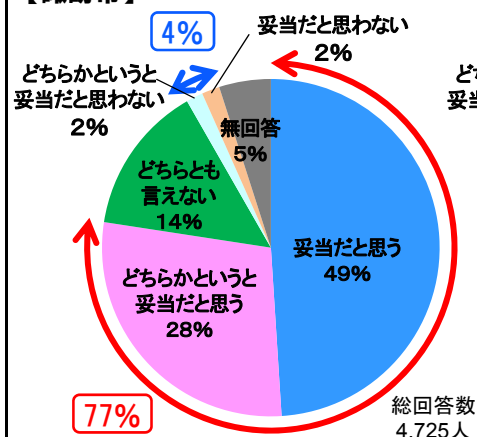


【長野県外】

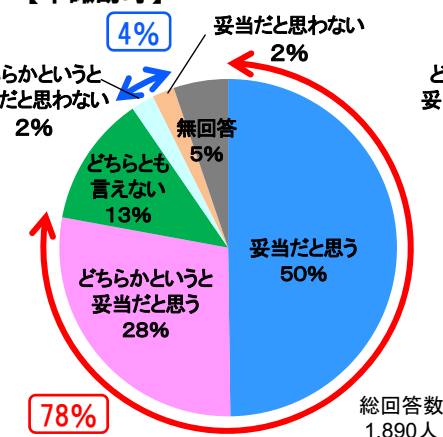


【質問④】B 第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）の結果は妥当だと思いますか？【単一回答】

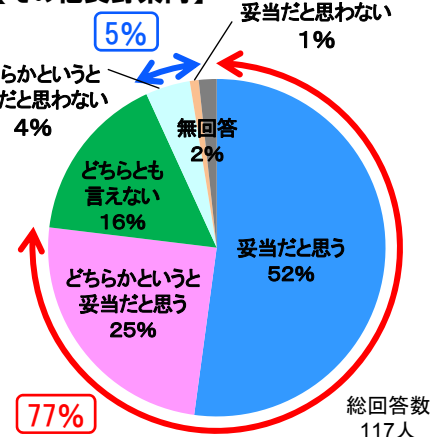
【諏訪市】



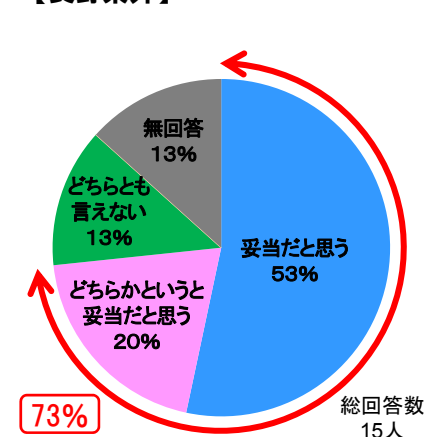
【下諏訪町】



【その他長野県内】



【長野県外】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

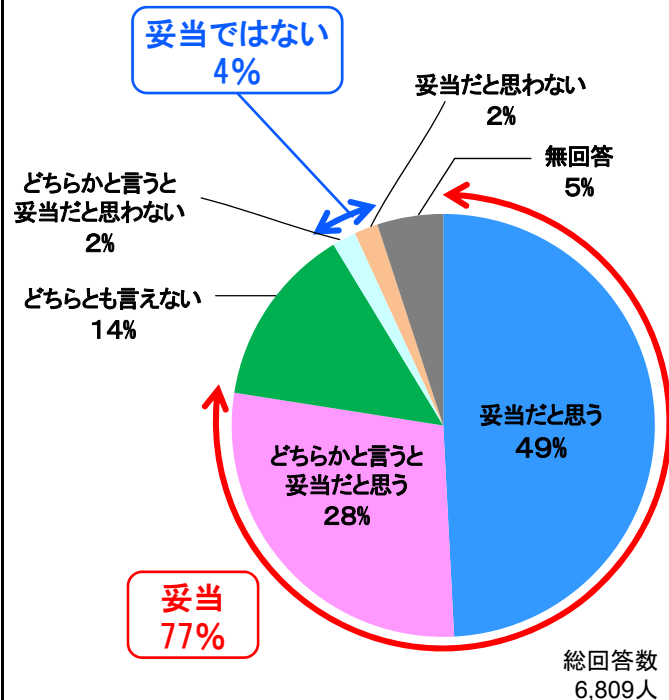
2-1. 意見聴取の結果 住民等（第1回地域の意見聴取の妥当性）

11

- ◆ 第1回地域の意見聴取の結果について、全体の約8割の人が「妥当」と実感。
- ◆ 「妥当」と回答した人のうち、国道20号を「週に数回以上」利用する人が約8割、「週1回未満」の人が約1割。また、「妥当ではない」と回答した人のうち、国道20号を「週に数回以上」利用する人が約6割、「週1回未満」の人が約3割。

第1回地域の意見聴取の結果

【質問④】B 第1回地域の意見聴取の結果について妥当だと思いますか？【単一回答】

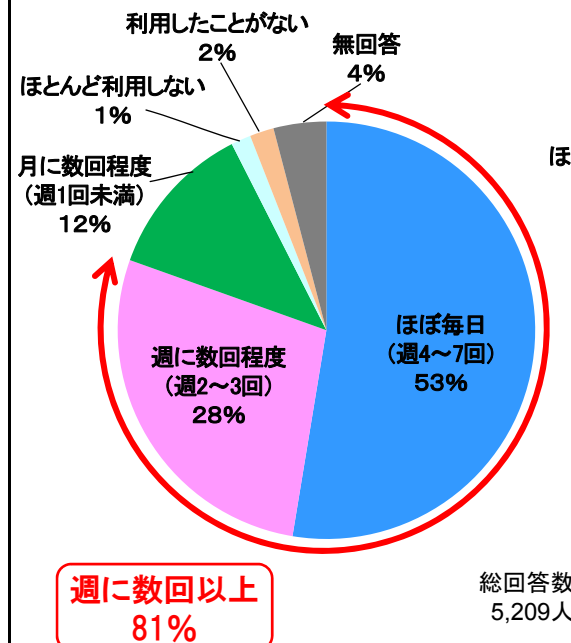


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道20号の利用頻度

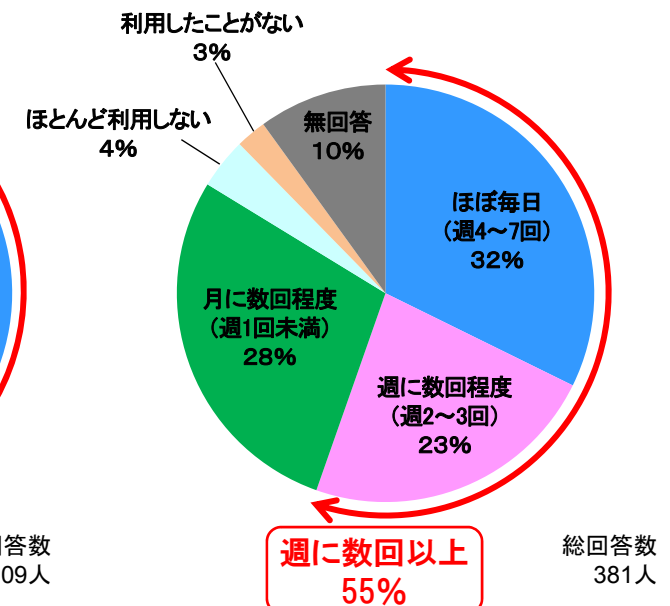
【質問①】 ふだん、諏訪地域内の国道20号をどの程度利用していますか？【単一回答】

【利用頻度(妥当)】



※割合は「質問④で第1回地域の意見聴取の結果が妥当だと思う、どちらかと言うと妥当だと思う」の総回答数に対する回答数。

【利用頻度(妥当ではない)】



※割合は「質問④で第1回地域の意見聴取の結果が妥当だと思わない、どちらかと言うと妥当だと思わない」の総回答数に対する回答数。

2-1. 意見聴取の結果 住民等(重視すべき項目)

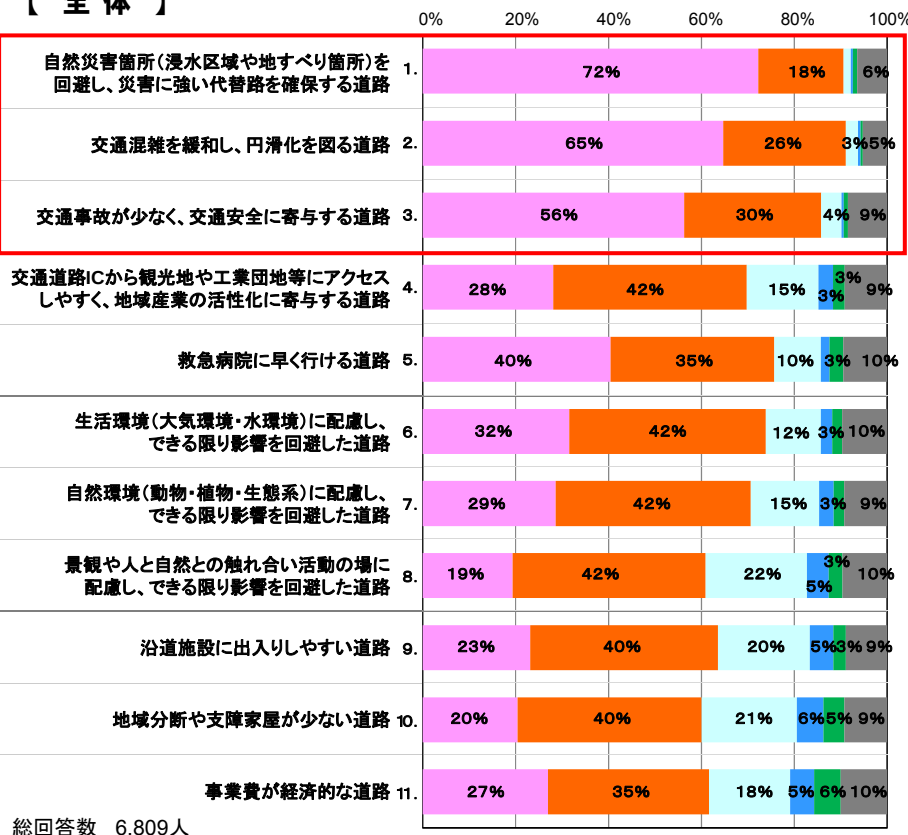
12

- ◆「災害に強い代替路を確保する道路」「交通混雑を緩和し、円滑化を図る道路」「交通安全に寄与する道路」の項目の順に重視すべき割合が高く、「特に重視すべき」と「やや重視すべき」の合計が約9割。
- ◆「生活環境」「自然環境」の環境に関する項目は、「特に重視すべき」と「やや重視すべき」の合計が7割以上。
- ◆重視すべき項目について、地域による差異はあまりない。

ルート検討で重視すべき項目

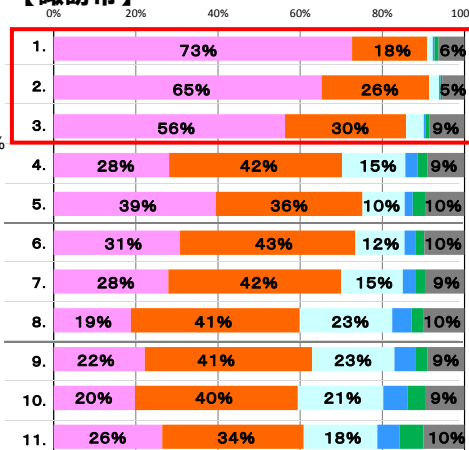
【質問⑥】 地域にとって望ましいルート帯の案を検討する際にどのような項目を重視すべきと思われますか？
【それぞれの項目について5段階のうち1つ選択】

【全体】

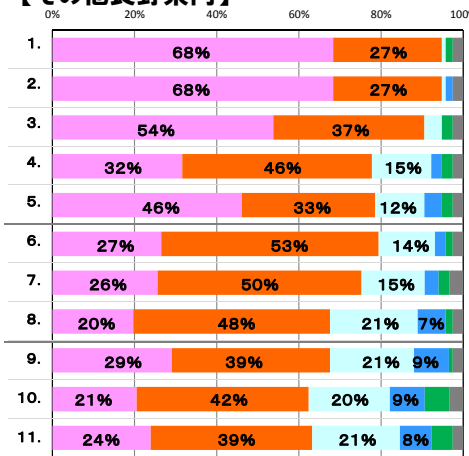


凡例 粉 特に重視すべき 橙 やや重視すべき 水 あまり重視すべきではない 青 重視すべきではない 緑 わからない 灰 無回答

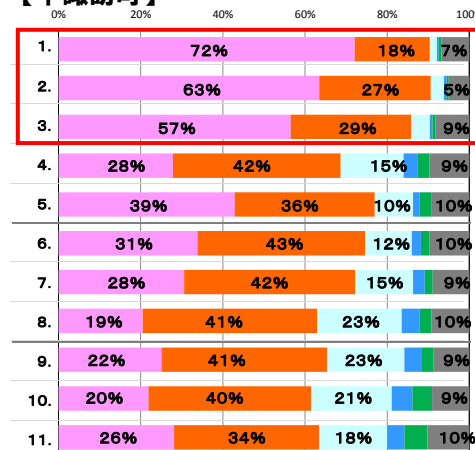
【諏訪市】



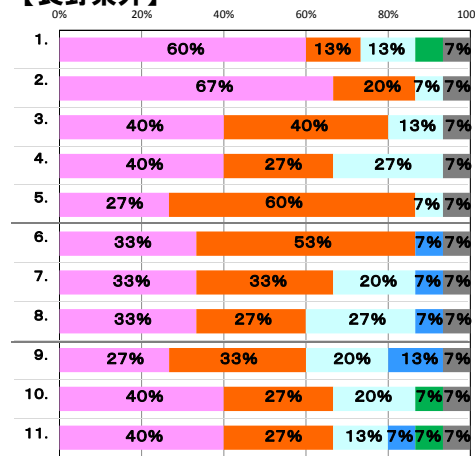
【その他長野県内】



【下諏訪町】



【長野県外】



※ 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。 ※割合は総回答数に対する回答数。

2-1. 意見聴取の結果 住民等(自由意見)

13

- ◆「政策目標」「環境への影響」「その他」それぞれの項目について、重視すべき理由に関する意見が得られた。その中でも、政策目標の「災害に強い」や「交通円滑化」に関する意見が多い。
- ◆ 提示した項目以外に重視すべき項目としては、「早期完成」や「構造」、「進め方」などがあげられた。

ルート検討で重視すべき項目

【質問⑥】 上記項目を重視すべきと回答する理由、または、上記以外で重視すべきと思う項目についてお聞かせください。【自由回答】

分類		主な理由・意見	※自由意見総記入数 1,447件
政策目標	災害に強い代替路の確保 【277件】	・ <u>災害時に緊急道路として役立つ道路にして欲しい。</u> ・ <u>少しの雨降りで冠水し、道路が遮断される。</u> ・ <u>昨年の大雪で寸断された時、生活に大きな影響があったから。</u>	
	交通の円滑化 【294件】	・ <u>通勤時間帯は、渋滞する箇所が非常に多いため。</u> ・ <u>道幅が広い道路が必要。</u> ・ <u>踏切が国道にまたがっている事を一番にさけて欲しい。</u>	
	交通安全の確保 【183件】	・ <u>子供や高齢者が安全に歩ける歩道の整備。</u> ・ <u>自動車、歩行者、自転車、すべての人の安全が大切。</u>	
	地域産業の活性化 【73件】	・ <u>今後の地域発展のために必要と思われる。</u>	
	安心・快適な暮らしづくり 【15件】	・ <u>騒音について、配慮してもらいたい、夜に眠れないようなことのないようにしてください。</u>	
環境	生活環境(水・大気) 【25件】	・ <u>日常生活に支障をきたさない、道路整備の充実をお願いしたい。</u>	
	自然環境(動植物) 【35件】	・ <u>動物の生活圏に人間が勝手に手を加えるのだから配慮できればいいと思う、共存共栄。</u>	
	その他環境(景観等) 【22件】	・ <u>平地がなく山裾を通ることになるので、景観と環境には十分配慮を。</u>	
その他	沿道施設出入り 【3件】	・ <u>トンネルを減らして国道や沿道から出入りできるようにして欲しい。</u>	
	地域分断・支障家屋 【13件】	・ <u>出来るかぎり住宅地を避ける。</u>	
	事業費 【36件】	・ <u>費用対効果を重視すべき。</u>	
上記以外 【471件】		・ <u>一日でも早く、道路を完成させて欲しい。</u> ・ <u>市街地を極力避け、トンネルや橋を作るようにする。</u> ・ <u>できるだけ多くの住民の意見等をこのような形で調査し続けて、できるだけ多くの声をきいて下さい。</u>	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～100件→1件掲載、意見数101～200件→2件掲載、意見数201件～→3件掲載。

2-1. 意見聴取の結果 住民等(自由意見)

14

- ◆「政策目標」「環境への影響」「その他」それぞれの項目について、配慮すべき事項に関する意見が得られた。その中でも、政策目標の「災害に強い」や「交通円滑化」に関する意見が多い。
- ◆その他の意見としては、「早期着工」や「歩行者・自転車の安全」に関する意見が多い。

配慮すべき事項

【質問⑦】 今後、詳細なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお答えください。【自由回答】

分類		主な意見	※自由意見総記入数 2,604件
政策目標	災害に強い代替路の確保 【339件】	・災害が起らない道路にしてください。 ・何よりも災害がおきた時に水につからない、諏訪湖で地域が分断されないための道路が必要。	
	交通の円滑化 【341件】	・通勤や業務上、使用する国道20号線は常に交通渋滞にさらされている。早急に対応してほしい。 ・地形的にむずかしいかもしれませんが直線的で広い道路を望みます。	
	交通安全の確保 【227件】	・自動車だけでなく、歩行者や自転車走行の安全も確保して欲しい。	
	地域産業の活性化 【65件】	・観光地として、大型バス等安心して通行できる道路。	
	安心・快適な暮らしづくり 【48件】	・高架橋の振動、騒音が無いようにされたい。夜は静かな街なので心配になる。	
環境	生活環境(水・大気) 【67件】	・トンネルも多くなると思うので、水環境にも配慮。	
	自然環境(動植物) 【91件】	・オオワシ等の鳥は生態が変わってしまうことに配慮してほしい。	
	その他環境(景観等) 【44件】	・すばらしい諏訪の景観がこわされず観光客にもそのすばらしさを見てもらえる様な配慮。	
その他	沿道施設出入り 【16件】	・バイパスと言えども地元が優先するので沿道施設への出入りを考えた計画を入れて欲しい。	
	地域分断・支障家屋 【65件】	・影響する家屋数も少なく、地域分断も避ける。	
	事業費 【54件】	・費用対効果が重要(安全面は優先)。	
上記以外 【1,247件】		・1日でも早く完成させて欲しい。 ・出来るだけトンネル化して欲しい。	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～300件→1件掲載、意見数301～→2件掲載。

【質問⑧】 その他ご意見がありましたらお聞かせください。【自由回答】

分類		主な意見	※自由意見総記入数 2,342件
早期着工 【594件】		・早期にルートを決めて工事の着工を望みたい。	
歩行者・自転車の安全 【255件】		・歩行者も自転車も安心して通れる道にして欲しい。	
検討の進め方 【143件】		・今回の全戸意見聴取により、バイパスについて考える機会を得ました。	
その他 【1,350件】		・バイパス開通後の旧20号線沿いの地域活性化の取組みも考えていく。 ・バイパスが完成する頃には、人口減少により、経済活動が縮小し、通行車両も減るのではないかと。	

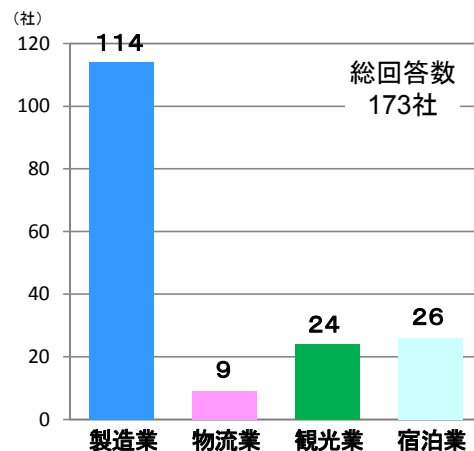
※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～1,000件→1件掲載、意見数1,001～→2件掲載。

2-2. 意見聴取の結果 事業者(属性・利用状況)

15

- ◆ 事業者の業種別の回答状況は、製造業が114社、物流業9社、観光業24社、宿泊業が26社。
- ◆ 製造業や物流業の出荷先は、長野県内が約6割、首都圏が約2割。
- ◆ 製造業では、約4割が国道20号を利用、物流業では、約7割が国道20号を利用。
- ◆ 観光業では、観光客の約6割が首都圏から来訪、宿泊業では、観光客の約9割が首都圏から来訪。
- ◆ 諏訪地域までの移動手段は、電車が約3割、バスが約2割、自動車・バイクが約5割、諏訪地域内での移動手段では、電車の割合が減少し、徒歩の割合が増加。

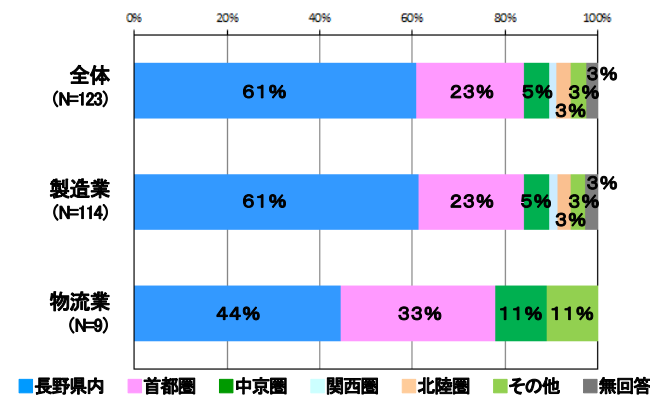
業種別回収状況



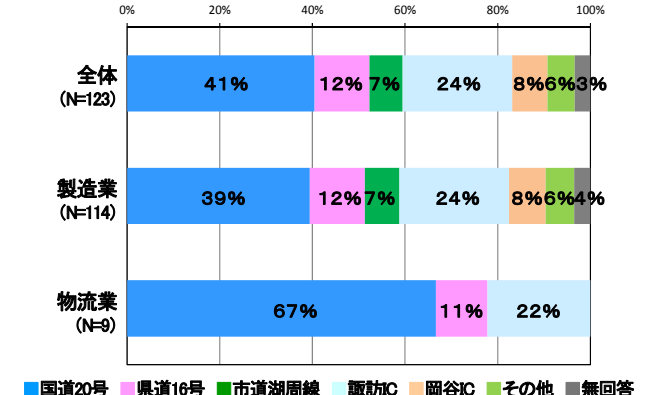
回収数と回収率

市町名	配布数	回収数	回収率
製造業	445部	114社	26%
物流業	15部	9社	60%
観光業	54部	24社	44%
宿泊業	79部	26社	33%
合計	593部	173社	29%

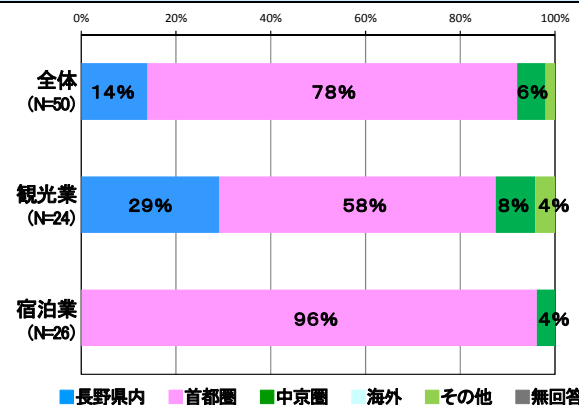
【製造業・物流業】出荷先



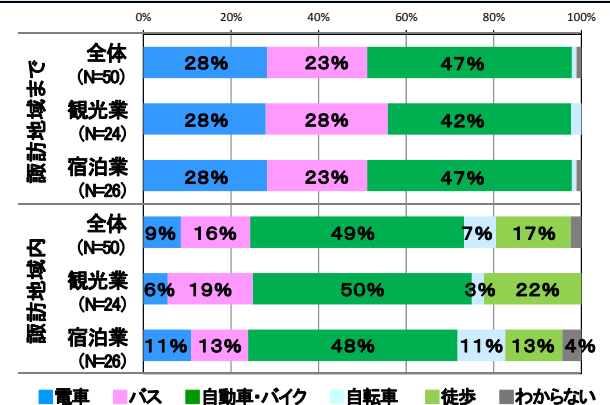
【製造業・物流業】利用路線・IC



【観光業・宿泊業】観光客の出発地



【観光業・宿泊業】観光客の移動手段



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

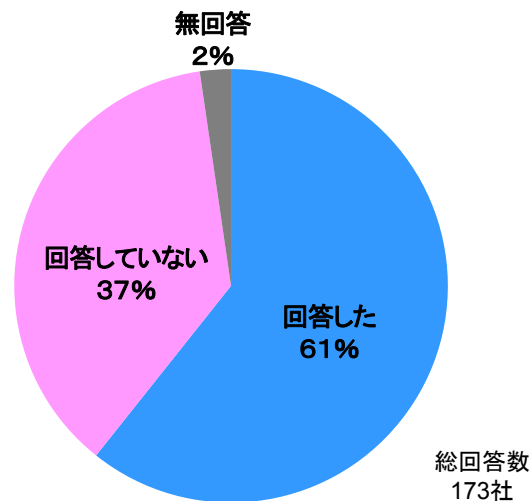
2-2. 意見聴取の結果 事業者（第1回地域の意見聴取）

16

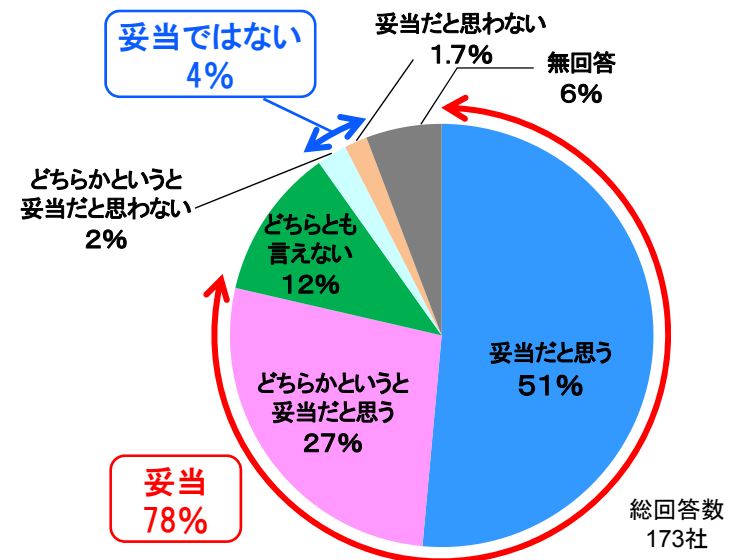
- ◆ 第1回地域の意見聴取も回答している事業者は、全体の約6割。
- ◆ 「妥当だと思う」と「どちらかという妥当だと思う」の合計が約8割。一方、「妥当だと思わない」と「どちらかという妥当だと思わない」の合計が1割未満。

第1回地域の意見聴取について

【質問④】A 第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）のに回答しましたか？ 【単一回答】



【質問④】B 第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）の結果は妥当だと思いますか？ 【単一回答】



【質問⑤】 妥当だと思わない理由について

分類	結果が妥当だと思わない主な理由	※自由意見総記入数 8件
現状の道路で十分・必要性を感じない 【6件】	・岡谷、諏訪ICどちらへも地理的にアクセス時間かかる。バイパス案の位置も遠いため、利用しないと思う。【製造業】 ・R20の渋滞がほとんど無い。諏訪⇄岡谷はR20使った方が早い場合もある。【製造業】 ・現状の問題と将来の問題は異なると思う。【製造業】 ・人は都合の良い道路を見つける。そんな中、今後バイパスを作る事で、周辺道路への影響が心配。【製造業】	
アンケートの方法及び結果が妥当でない 【2件】	・最初から決められたルートで検討しているが、もっと別のルートについて検討すべきである。【製造業】 ・回答率が低すぎる。【製造業】	

2-2. 意見聴取の結果 事業者（第1回地域の意見聴取）

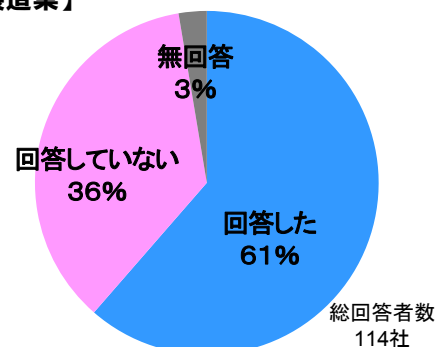
17

- ◆ 第1回地域の意見聴取は、業種による差異はあまりなく、約6割が回答。
- ◆ 結果の妥当性では、各業種とも「妥当だと思う」と「どちらかという妥当だと思う」の合計が7割以上で、特に物流業や観光業が9割以上で高い。

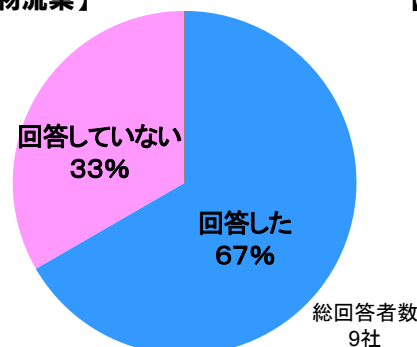
第1回地域の意見聴取について

【質問④】A 第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）のに回答しましたか？【単一回答】

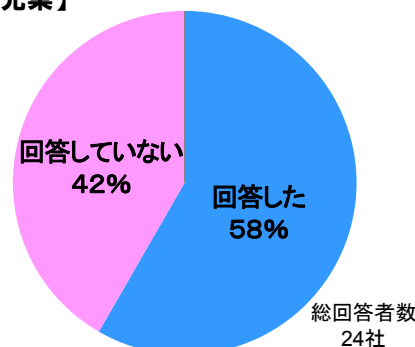
【製造業】



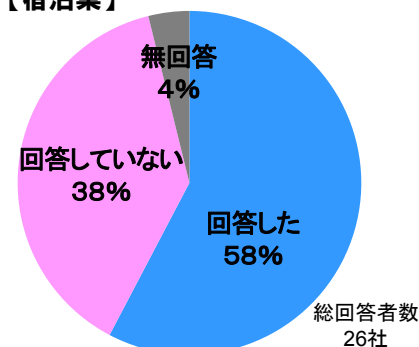
【物流業】



【観光業】

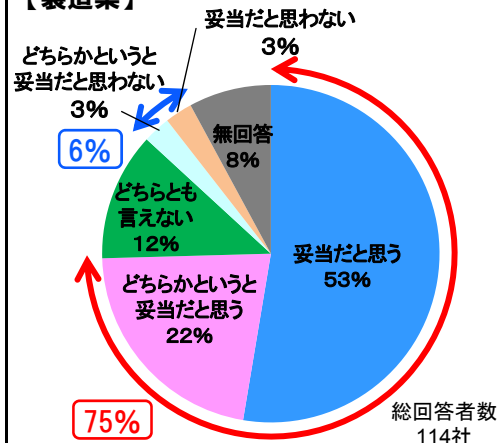


【宿泊業】

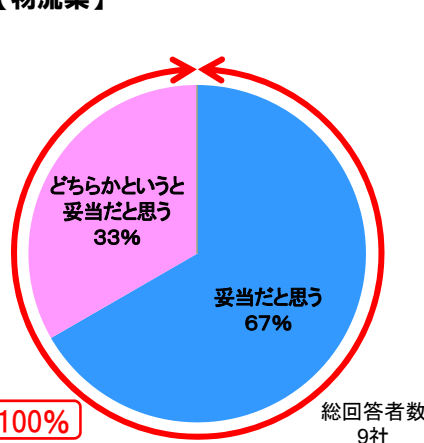


【質問④】B 第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）の結果は妥当だと思いますか？【単一回答】

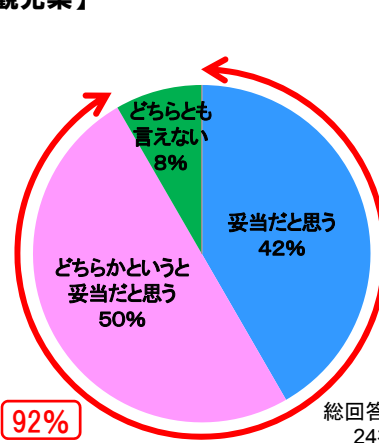
【製造業】



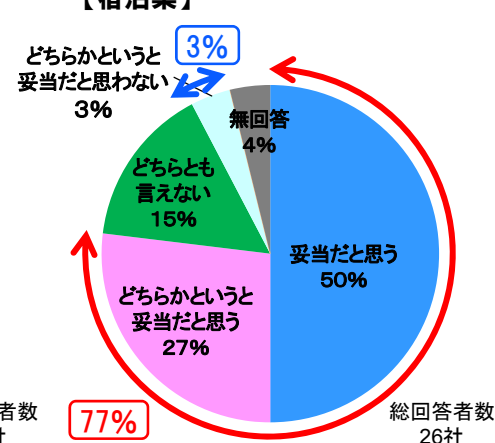
【物流業】



【観光業】



【宿泊業】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

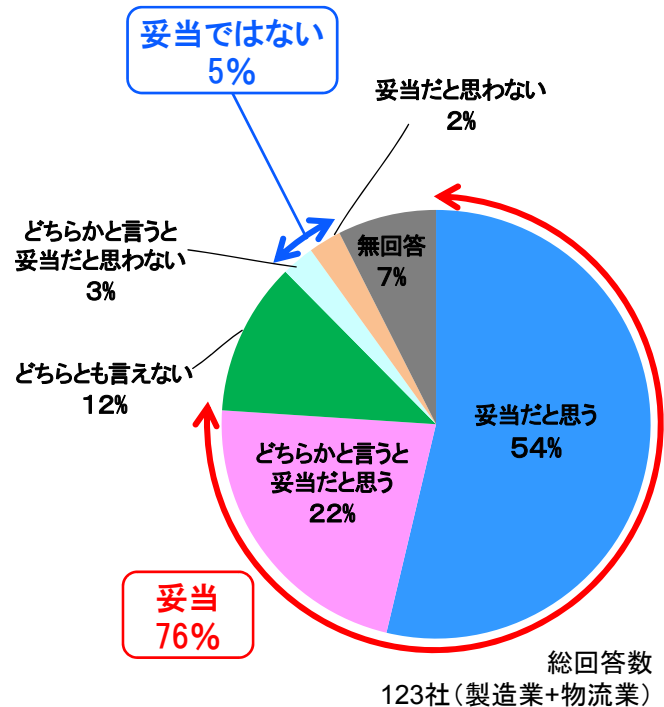
2-2. 意見聴取の結果 事業者（第1回地域の意見聴取の妥当性）

18

- ◆ 製造業と物流業の約8割が、第1回地域の意見聴取の結果が「妥当」だと実感。
- ◆ 上記の第1回地域の意見聴取の結果において、「妥当」と「妥当ではない」と回答した事業者の国道20号の「週に数回以上」利用する割合を比較すると、「妥当」と「妥当ではない」で差異はあまりない。

第1回地域の意見聴取の結果

【質問④】 第1回地域の意見聴取の結果について妥当だと思いますか？【単一回答】



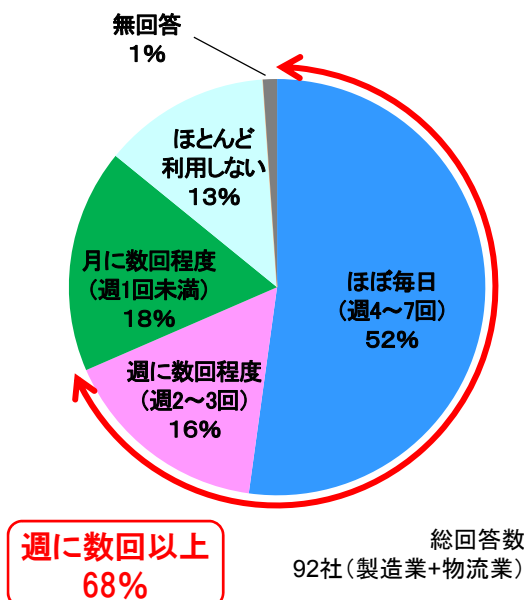
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道20号の利用頻度

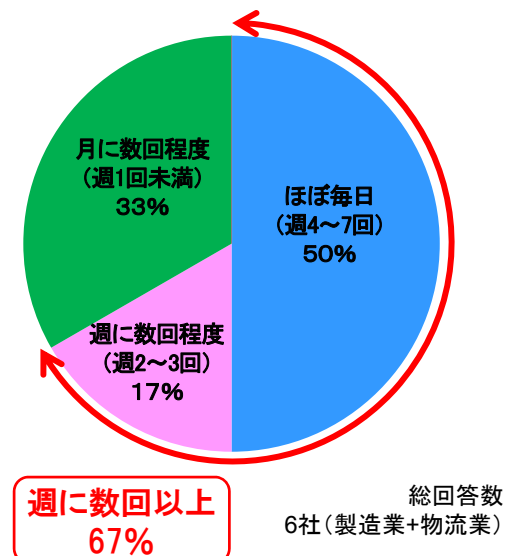
【質問①】 ふだん、諏訪地域内の国道20号をどの程度利用していますか？【単一回答】

【利用頻度(妥当)】

【利用頻度(妥当ではない)】



※割合は「質問④で第1回地域の意見聴取の結果が妥当だと思う、どちらかと言うと妥当だと思う」の総回答数に対する回答数。



※割合は「質問④で第1回地域の意見聴取の結果が妥当だと思わない、どちらかと言うと妥当だと思わない」の総回答数に対する回答数。

2-2. 意見聴取の結果 事業者(地域の課題・政策目標)

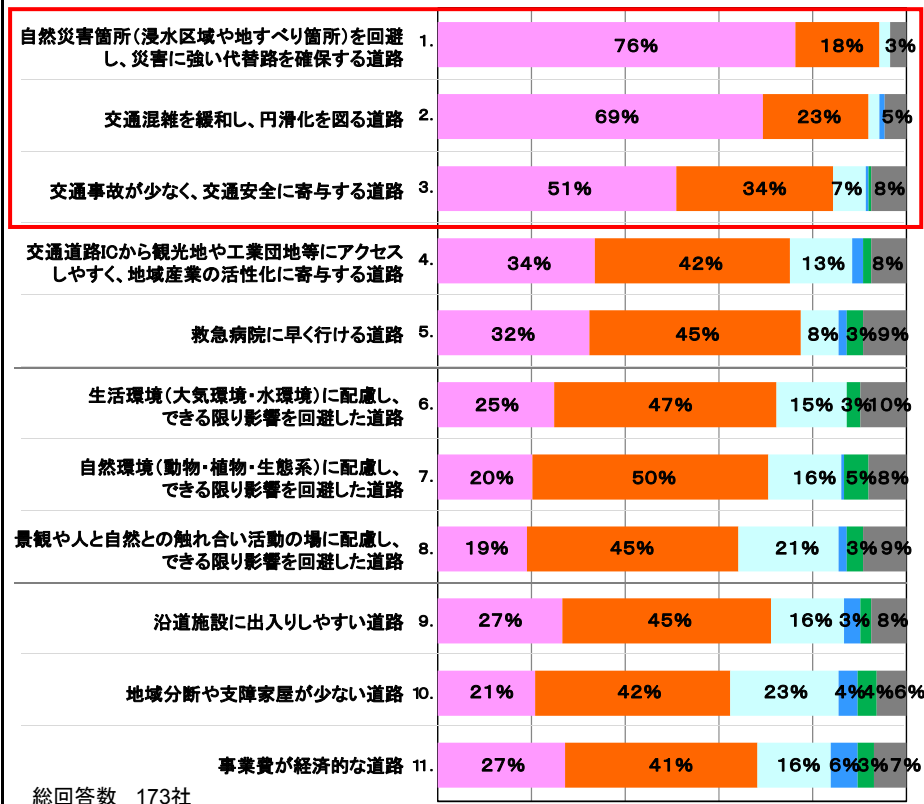
19

- ◆「災害に強い代替路を確保する道路」「交通混雑を緩和し、円滑化を図る道路」「交通安全に寄与する道路」の項目の順に重視すべき割合が高く、「特に重視すべき」と「やや重視すべき」の合計が約9割。
- ◆全業種で「災害に強い代替路を確保する道路」がもっとも高いが、業種により重視すべき項目の順位が異なる。

ルート検討で重視すべき項目

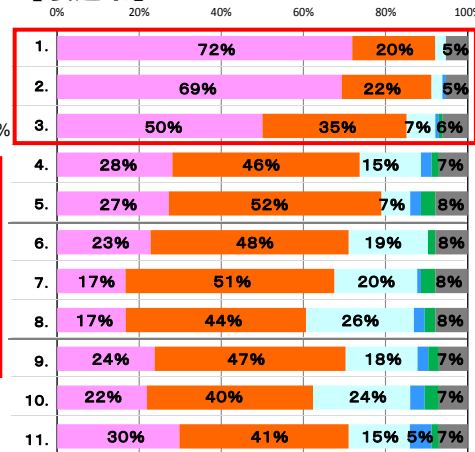
【質問⑥】 地域にとって望ましいルート帯の案を検討する際にどのような項目を重視すべきと思われますか？
【それぞれの項目について5段階のうち1つ選択】

【全体】

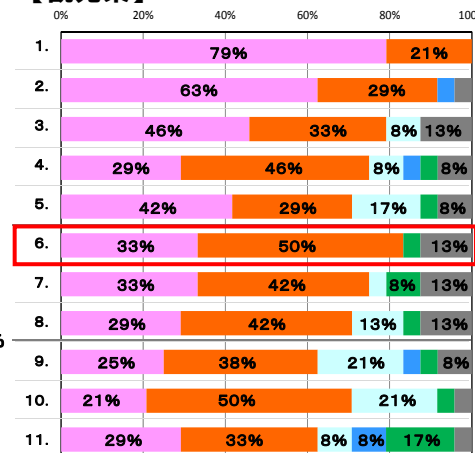


凡例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

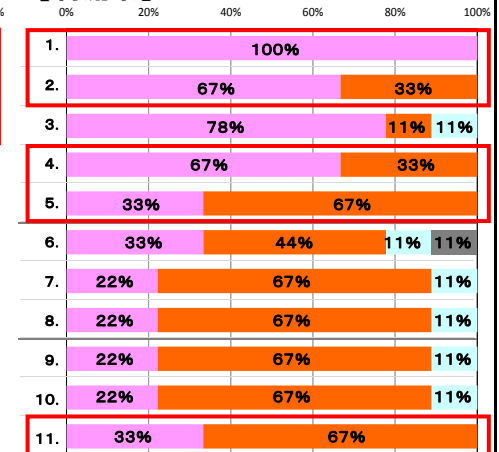
【製造業】



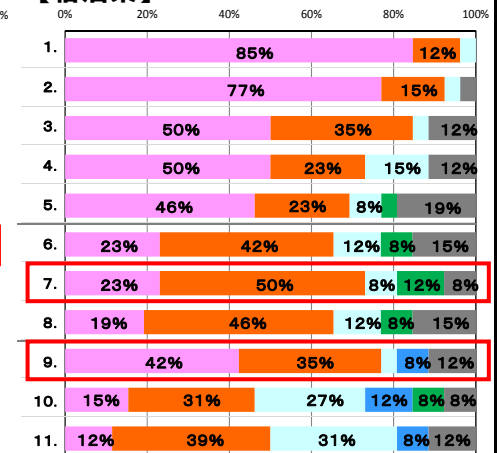
【観光業】



【物流業】



【宿泊業】



※ 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。 ※割合は総回答数に対する回答数。

2-2. 意見聴取の結果 事業者(自由意見)

20

- ◆「政策目標」「その他」それぞれの項目について、重視すべき理由に関する意見が得られた。
政策目標の「災害に強い」に関する意見が多いが、「環境への影響」の項目については、意見がなかった。
- ◆提示した項目以外に重視すべき項目としては、「将来の社会情勢への配慮」などがあげられた。

ルート検討で重視すべき項目

【質問⑥】 上記項目を重視すべきと回答する理由、または、上記以外で重視すべきと思う項目についてお聞かせください。【自由回答】

分類		主な意見	※自由意見総記入数 30件
政策目標	災害に強い代替路の確保 【9件】	・昨今の異常気象により、特に諏訪市内で道路冠水が頻繁に発生しており、将来更に通行止め等が増える可能性があると思われるから。【製造業】 ・自然災害が年々多くなっている現状を重視して、 <u>水害・土砂崩れ等の影響を受けない道路整備が重要</u> と思う。【製造業】	
	交通の円滑化 【4件】	・諏訪地域における20号は <u>信号が多いこと、直進・右折の分離がないこと、踏切が2か所もあること</u> 重視して早期バイパスを着工すること。【製造業】 ・信号機の的確な表示タイミング(赤信号が続かないように)。【観光業】	
	交通安全の確保 【3件】	・工業や観光などの産業に寄与することが重要だが、同時に <u>一般路への車の流入を減らし</u> 、子どもや老人などの歩行者の保護をする配慮がほしい。【製造業】	
	地域産業の活性化 【2件】	・バイパスによる <u>物流の高流動性</u> 。【製造業】	
	安心・快適な暮らしづくり 【1件】	・災害や救急の場合、 <u>人の命がかかわるため</u> 。【製造業】	
環境	生活環境(水・大気) 【0件】		
	自然環境(動植物) 【0件】		
	その他環境(景観等) 【0件】		
その他	沿道施設出入り 【0件】		
	地域分断・支障家屋 【1件】		
	事業費 【1件】	・経費をなるべく節減してもらい、 <u>ムダのない道づくり</u> をお願いします。【製造業】	
上記以外 【9件】		・30年、40年先を見て、 <u>人口減少による道路の拡充が必要なの</u> かが検証されるべき。【観光業】 ・全て関連性があるから、 <u>どこが重視しなくてよいとは言えない</u> 。【製造業】	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～5件→1件掲載、意見数6～10件→2件掲載。

2-2. 意見聴取の結果 事業者(自由意見)

21

- ◆「政策目標」「環境」「その他」それぞれの項目について、配慮すべき事項に関する意見が得られた。
政策目標の「災害に強い」に関する意見が多く、「環境への影響」の項目についても、それぞれ意見があった。
- ◆ その他の意見としては、「早期着工」や「交通の円滑化」に関する意見が多い。

配慮すべき事項

【質問⑦】 今後、詳細なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお答えください。【自由回答】

分類		主な意見	※自由意見総記入数 44件
政策目標	災害に強い代替路の確保 【8件】	・地形的に山側に開発を進められるが、その為の <u>災害に配慮すべきだ</u> と思う。【 製造業 】	
	交通の円滑化 【5件】	・現在、岡谷ICからのバイパスを通りますが、 <u>信号が多くて時間効果なし</u> 。【 製造業 】	
	交通安全の確保 【2件】	・大型トレーラーがゆったり通ることができ、 <u>自転車や歩行者が危険を感じない配慮</u> がされた道路。【 製造業 】	
	地域産業の活性化 【7件】	・道ができると新しい商圈もできます。旧と新の商圈が共に成り立つような道作りも大切かと考えます。【 宿泊業 】	
	安心・快適な暮らしづくり 【1件】	・ <u>運転者のストレスも軽減</u> できると思う。【 製造業 】	
環境	生活環境(水・大気) 【3件】	・これからの道路は交通の利便性より、 <u>そこに住む人々の環境に配慮</u> した道路でありたい。【 製造業 】	
	自然環境(動植物) 【1件】	・信州の <u>自然を大切に</u> 【 製造業 】	
	その他環境(景観等) 【1件】	・ <u>景観に配慮</u> した設計でお願いしたい【 宿泊業 】	
その他	沿道施設出入り 【0件】		
	地域分断・支障家屋 【0件】		
	事業費 【4件】	・更に <u>維持費もかかる</u> ことを計画段階で考えてほしい。【 製造業 】	
上記以外 【12件】		・現在の国道を拡幅等する事は困難だと思われるので、市街地を迂回するようなルートで、 <u>トンネル等により通過できるように</u> してほしい。【 観光業 】	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～→1件掲載。

【質問⑧】 その他ご意見がありましたらお聞かせください。【自由回答】

分類		主な意見	※自由意見総記入数 48件
早期着工	【16件】	・長年に渡り、バイパスが実現していない。20号線で最も遅れている地域なので、 <u>地域の発展の為にも最急に進めてもらいたい</u> 。【 物流業 】	
交通の円滑化	【6件】	・ <u>信号機を少なくし</u> 、なお安全考慮した交差点。【 製造業 】	
その他	【26件】	・ <u>大型バスが円滑に出入りできる接続道路</u> 。【 宿泊業 】 ・ <u>少々不便は仕方なく、受け入れる方が</u> 良いのでは。【 観光業 】	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～→1件掲載。意見数20～→2件掲載。

2-3. 意見聴取の結果 事業者ヒアリング（業種別の傾向）

22

- ◆「災害に強い代替路の確保」「交通の円滑化」「地域産業の活性化」に関する意見は、全業種であげられ、重視すべき項目として認識。
- ◆ 政策目標に関する「交通安全に寄与」や「救急病院に早く行ける」についても、複数の業種で意見があげられた。
- ◆ その他の意見としては、今後の進め方や、これまでの検討に関する関わり方などがあげられた。

■事業者ヒアリングにおける重視すべき項目への言及の状況

凡例：
●：言及あり

業種 意見分類	製造業・物流業 (3社)	観光業・宿泊業 (3社)	警察・消防・医療機関 (3社)	公共交通機関 (3社)
災害に強い代替路の確保	●	●	●	●
交通混雑を緩和し円滑化に配慮	●	●	●	●
交通安全に寄与する	●		●	●
地域産業の活性化に寄与する	●	●	●	●
救急病院に早く行ける		●	●	
生活環境に配慮している				
自然環境に配慮している				
景観に配慮している		●		
沿道施設に出入りしやすい	●			
地域分断や支障家屋が少ない		●		
事業費が経済的	●			
その他	●		●	●

2-3. 意見聴取の結果 事業者ヒアリング（重視すべき項目への意見）

23

- ◆ 災害に関する意見としては、凍結対策と代替路の確保に関する意見が多い。
- ◆ 交通の円滑化に関する意見では、バイパス区間をトラックなどの通過交通が利用し、現道は市民や観光客などの地域に用事がある人が利用するような棲み分けを望んでいる声が多い。
- ◆ その他の意見としては、業種に限らず、地域として早期着工・早期開通を望んでいる声がある。

分類		事業者ヒアリングにおける主な自由意見	※自由意見総記入数 38件
重視すべき項目に対応する意見分類	災害に強い代替路の確保【9件】	・ 地域の特徴として、 <u>凍結対策が重要</u> である。【公共交通事業者】 ・ 昨年も大雪で道が分断されて動かなくなった。【製造業・物流業】 ・ 大災害のとき、観光客をすみやかに逃がせる <u>アクセス道路があると助かる</u> 。【観光業・宿泊業】	
	交通混雑を緩和し円滑化に配慮【4件】	・ バイパスをトラックが通り、国道20号が一般車だけにすれば、バス運行上望ましい。【公共交通事業者】 ・ 混雑の原因になる <u>交差点を作り過ぎない</u> 。アクセス道路は少なくする。【警察・消防・医療機関】	
	交通安全に寄与する【6件】	・ 道幅が狭く危険。通学路になっている国道20号を通るのは非常に危険。【製造業・物流業】 ・ 深雪よりも <u>凍結に対する安全対策の方が</u> 必要だと思う。勾配も小さい方がいい。【警察・消防・医療機関】	
	地域産業の活性化に寄与する【5件】	・ <u>流通がスムーズにいくことは、産業の活性化につながる</u> 。【製造業・物流業】 ・ <u>観光客が地域に立ち寄りやすく、渋滞を起こさないアクセス道路</u> 。【観光業・宿泊業】	
	救急病院に早く行ける【3件】	・ トラックがバイパスを利用すれば、現道区間を <u>搬送ルートとしては利用しやすい</u> 。【警察・消防・医療機関】	
	景観に配慮している【1件】	・ 下諏訪町の <u>景観を壊さないアクセス道路</u> 。【観光業・宿泊業】	
	沿道施設に出入りしやすい【1件】	・ バイパスが出来ると通過車両が転換する。すると <u>現道の大型車両が減るので沿道施設を利用しやすくなる</u> 。【製造業・物流業】	
	地域分断や支障家屋が少ない【1件】	・ 下諏訪町は山沿いなのでバイパス歓迎派も多いと思うが、諏訪市側は難航するのではないか。【観光業・宿泊業】	
	事業費が経済的【2件】	・ 道路は整備されているに越したことはない。お金も目に見えるものに使ってもらった方が良い。【製造業・物流業】	
その他	【6件】	・ バイパスの検討は40年ぶりのチャンスだから、とにかくうまく進めてほしい。【製造業・物流業】 ・ 協会の総意として、 <u>早くやってほしい</u> 。【製造業・物流業】	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～3件→1件掲載、意見数4～6件→2件掲載、意見数7件～→3件掲載。

2-4. 意見聴取の結果 オープンハウス(重視すべき項目への意見)

24

- ◆ オープンハウス来訪者の主な意見として、パネルをみながら「渋滞」や「踏切」、「自然災害」などに関する具体的な内容について意見をいただいた。
- ◆ 今回の意見聴取については、PI手法や内容、スケジュールに関する質問があった。
- ◆ ルートや構造に関する質問や早期の着工に関する意見をいただいた。

分類	オープンハウスにおける主な意見	※自由意見総記入数 46件
政策目標 【8件】	・ 複数の河川が諏訪湖に流入するため、<u>水路があふれて水害となる。</u> ・ バイパスができることによって市内を走る車が減少し、<u>中心市街地の活力が低下する</u>のが心配。	
環境への影響 【4件】	・ <u>水源がどうなるか不安</u>(諏訪市岡村 地藏寺周辺)。 ・ <u>トンネルの水</u>について。	
沿道施設出入り、地域分断・支障家屋、事業費 【2件】	・ <u>集落が二つに分かれる</u>ことも予想される。住宅を避けてもらえるとよい。	
PI手法・進め方 【9件】	・ <u>たくさんの人の意見を聞く</u>ことは大変であるが大切なこと。 ・ 地元の人が必要と認識するよう、災害時や渋滞解消のためにも必要であり、国交省もそこを<u>きちんと説明してほしい。</u> ・ <u>アンケートの作成は不要</u>だと思う。	
ルート・構造・アクセス 【13件】	・ ルート帯の<u>500m幅から絞りこむ</u>のはなかなか難しいのでは。 ・ 構造は、<u>トンネル掘割でお願いしたい。</u> ・ 霧ヶ峰線との<u>交差する箇所は、立体交差</u>になってほしい。	
その他 【10件】	・ やっと動いてきた感じがする。長かった。<u>早く進めてほしい。</u> ・ 期待しているので<u>早く整備</u>願いたい。 ・ 高齢化しているので<u>引っ越すことが難しくなる。早く進めてほしい。</u>	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～3件→1件掲載、意見数4～6件→2件掲載、意見数7件～→3件掲載。

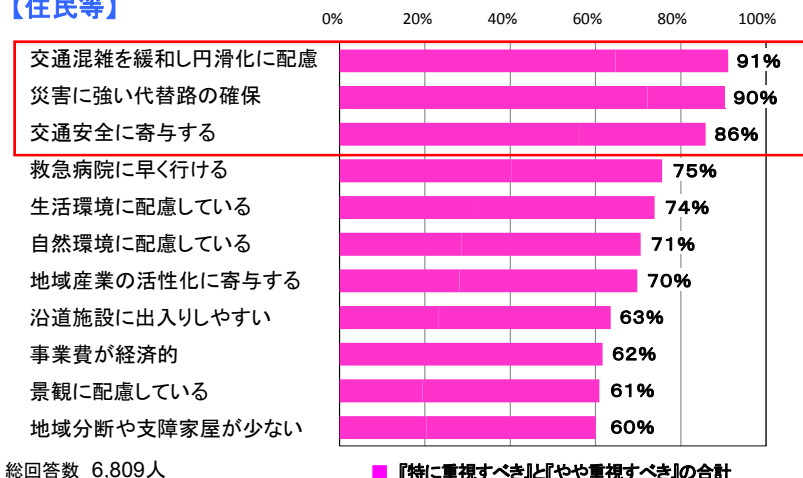
2-5. 第2回意見聴取の結果のまとめ

25

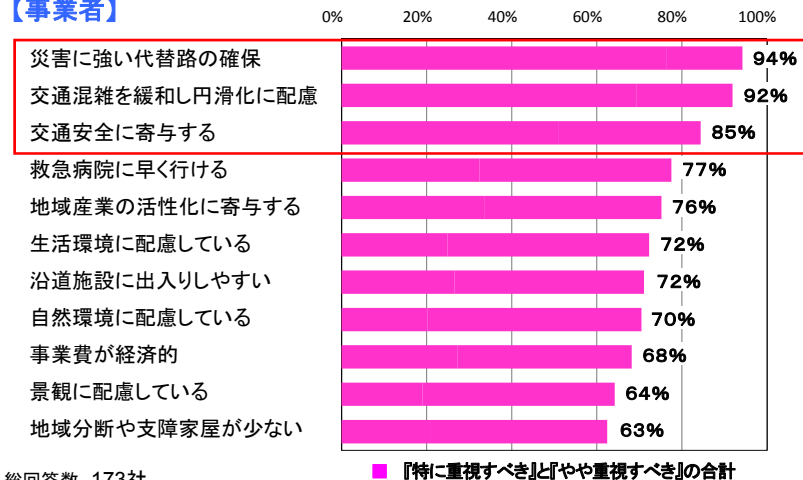
- ◆ 意見聴取の結果、地域にとって望ましい案を選ぶ際に、「災害に強い代替路の確保」「交通混雑を緩和し、円滑化に配慮」「交通安全に寄与する」の項目を重視している。
- ◆ 住民・事業者とも災害に強く、交通円滑化に寄与するバイパス案を望む意見が多い。

地域が望む道路計画

【住民等】



【事業者】



重視すべきと思う理由

【住民等】

自由意見総記入数1,447件※

●主な意見

○交通混雑を緩和し円滑化に配慮・・・294件

- ・国道20号(特にJR上諏訪駅北側の踏切等)の渋滞はがけしいのでバイパスを早期に造ってほしい。
- ・現道は昼間通ると混雑していて信号待ちも多いので、安全でスムーズに移動できるバイパスがあった方がよい。

○災害に強い代替路の確保・・・277件

- ・本年2月の大雪により国道20号が数日間にわたり通行止め、近年の局所的豪雨により道路冠水し通行規制が頻発しているので、災害に強い代替路を確保を望みます。
- ・災害が多くなっている日本。安心して物資が輸送され、被災者を応援にこれる道路の確保を。

○交通安全に寄与する・・・183件

- ・高齢化社会に向けてすべてに安全であることを重視すべきと思います。
- ・交通安全については車のスピード問題、歩行者、自転車の分離等に気をつけて下さい。

【事業者】

自由意見総記入数 30件※

●主な意見

○災害に強い代替路の確保・・・9件

- ・自然災害が年々多くなっている現状を重視して、水害・土砂等の影響を受けない道路整備が重要と思う。
- ・大雨降れば四賀地区が通行止になるので早くバイパスを！

○交通混雑を緩和し円滑化に配慮・・・4件

- ・諏訪地域における20号は信号が多いこと、直進・右折の分離がないこと、踏切が2か所もあること重視して早期バイパスを着工すること。
- ・大型トレーラーがゆったり通ることができ、自転車や歩行者が危険を感じない配慮がされた道路。運転者のストレスも軽減できると思う。

○交通安全に寄与する・・・3件

- ・工業や観光などの産業に寄与することが重要だが、同時に一般道路への車の流入を減らし、子どもや老人などの歩行者の保護をする配慮がほしい。

※ルート重視すべき項目に関する自由意見。

3. 対応方針(案)の検討

3-1. バイパス案(山側ルート)と比較案

27

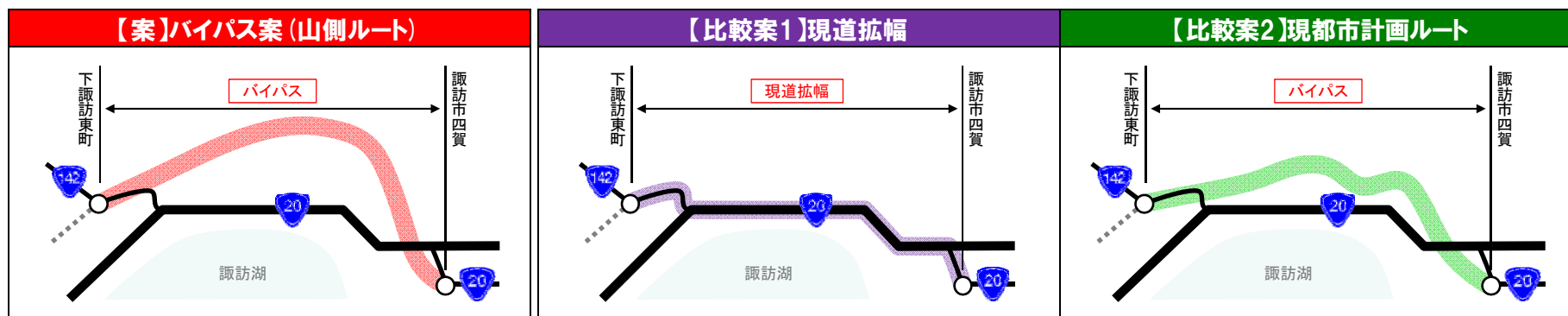
◇ルート帯案

【案】バイパス案(山側ルート)・・・諏訪市～下諏訪町間を現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案



参考文献:「長野県鳥獣保護区等位置図」(平成24年度 長野県林務部森林づくり推進課)、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 長野県」(昭和56年 環境庁)、「支部報「いわずすめ」No.96(2004年5-6月号)」(平成16年 日本野鳥の会諏訪支部)、「ふるさといきもの里100選」(平成元年 環境庁自然保護局)、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成元年 環境庁)、「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)、「信州の文化財」(平成24年9月 財団法人八十二文化財団)、「第4回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成7年 環境庁)、「自然公園等指定状況一覧」(平成19年4月 長野県自然環境保護課)、「日本の重要湿地500」(平成24年9月 環境省 インターネット自然研究所)、「日本の都市公園100選」(平成元年 日本公園緑地協会)、「新日本夜景100選」(平成16年 新日本三大夜景・夜景100選事務局)、「日本の渚・百選」(平成8年 国土交通省)、「温泉源泉の名称及び住所の一覧」(平成25年10月 諏訪保健福祉事務所 食品・生活衛生課生活衛生係)、「全国観光情報データベース」(平成25年10月 社団法人日本観光振興協会)、「各市町観光パンフレット」(平成25年10月 岡谷市・下諏訪町・諏訪市・茅野市)、「諏訪湖一周ジョギングロード」(平成24年9月 長野県健康福祉部健康長寿課)、「長野県統合型地理情報システム しんしゅうくらしのマップ」(長野県企画振興部情報政策課)、「浸水想定区域」(平成24年度 国土数値情報)

◇整備イメージ



注)比較案:ルート帯案を設定するにあたって比較検討した案

3-1. バイパス案(山側ルート)と比較案

28

3つの案の比較結果

	【案】バイパス案(山側ルート)	【比較案1】現道拡幅	【比較案2】現都市計画ルート
ルート概要	現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案	現道2車線を拡幅(車線数増加)	現都市計画ルートを基にバイパス整備
政策目標	災害に強い代替路の確保 (浸水被害、土砂災害)	・浸水対策は、路面の嵩上げにより対応するものの、効果は【バイパス案】より小さい。 ・土砂災害の危険性は現道拡幅のため、現状と同じ。	・浸水対策はバイパスにより高台に回避。 ・土砂災害の危険性は一部山側に回避。 ・新たな代替路を確保。
	交通の円滑化 (渋滞、踏切)	・交通容量(車線数)を確保し、現道の交通混雑を緩和、踏切は立体交差するものの、効果は【バイパス案】より小さい。	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通混雑が解消。
	交通安全の確保	・安全施設の設置により、交通事故が減少するものの、効果は【バイパス案】より小さい。	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通事故が減少。
	安心・快適な暮らしづくり (医療、騒音)	・高次救急医療機関への到達性が向上。 ・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の沿道環境が改善。 ・線形、構造形式により【比較案2】より到達性の向上が見込まれ、交通転換の効果も高い。	・高次救急医療機関への到達性が向上。 ・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の沿道環境が改善。
	地域産業の活性化	・国道20号の連続する信号交差点や踏切を回避し、高速ICまでのアクセス性や定時性が向上。 ・線形、構造形式により到達性の向上が見込まれることから、【比較案2】よりアクセス性や定時性の効果が高い。	・国道20号の連続する信号交差点や踏切を回避し、高速ICまでのアクセス性や定時性が向上。
環境への影響	生活環境	・大気環境は、集落・市街地等を通過しており、影響を与える可能性が小さい。 ・水環境は、源泉施設を概ね回避しているが、ルートの位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。	・大気環境は、一部市街地や集落を通過するため、【バイパス案】より影響を与える可能性が大きい。 ・水環境は、源泉施設を概ね回避しているが、ルートの位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。
	自然環境	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を回避しており、影響を与える可能性小。 ・また、【比較案2】より山側へ回避していることで、構造形式による更なる影響低減の検討が可能。	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を回避しており、影響を与える可能性小。
	その他	・景観は、景観資源を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・また、【比較案2】より山側へ回避していることで、構造形式による更なる影響低減の検討が可能。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を概ね回避しており、影響を与える可能性小。	・景観は、景観資源を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を概ね回避しており、影響を与える可能性小。
その他	沿道施設への出入り	・沿道施設への出入りは想定していない。	・沿道施設への出入りは想定していない。
	地域分断	・一部市街地や集落を山側に回避することで、地域分断は、ほぼ生じない。	・一部市街地や集落を通過するため、【バイパス案】より地域分断が生じる。
	影響する家屋数等	約210棟 (宅地面積:約4万m2【比較案1】の約1/4)	約320棟 (宅地面積:約6万m2)
	事業費	約700~740億円	約810~850億円

意見聴取で重視されている上位の項目

- 【案】バイパス案(山側ルート)は、2つの比較案に比べ、課題を解決するための政策目標である、災害に強い代替路の確保、交通の円滑化、交通安全の確保、安心・快適な暮らしづくり、地域産業の活性化への効果が優れている。
また、環境への影響、地域分断、経済面でも優れており、意見聴取で得られた地域のニーズにも応えることが可能である。

■ 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を達成できる道路の
必要性を確認

【政策目標】

- 交通の円滑化
- 災害に強い代替路の確保
- 安心・快適な暮らしづくり
- 地域産業の活性化
- 交通安全の確保

地域の意見聴取等の結果

【地域の課題】

- 地域が感じている国道20号の課題は、「交通の集中による渋滞の発生」「自然災害による被害(リダンダンシーの確保(代替路の確保))」が多い。

【道路整備の必要性】

- 住民や事業者など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。

【ルート検討において重視すべき事項】

- 地域が感じているルート検討において重視すべき項目は、「交通の円滑化」「災害に強い代替路の確保」「交通安全の確保」が多い。
- その他に「安心・快適な暮らしづくり」「地域産業の活性化」についても、重視すべき項目としてあげられている。
- 一部の地元住民等からは、「生活環境に配慮」「自然環境に配慮」が特に重要とする意見がある。

【自治体の意見】

- 長野県および沿線地方公共団体から原案に賛成するとともに、早期整備を要望するとの意見をいただいている。

■ 対応方針(原案)

1. ルート案については、「諏訪市～下諏訪町間を現都市計画ルートより、バイパスを山側に通すバイパス案(山側ルート)」とする。

【理由】

- 政策目標である「交通の円滑化」「災害に強い代替路の確保」「交通安全の確保」を図り、「安心・快適な暮らしづくり」や「地域産業の活性化」に寄与する道路であること。
- 生活・自然環境、景観等へ影響を与える可能性が小さいこと。
- 支障となる家屋数、経済性の面でも優れていること。
- 地域の意見聴取で得られた地域のニーズにも応えられること。

2. 道路構造等の検討については、地すべり危険箇所、生活・自然環境や景観に十分に配慮した設計・施工とする。

3. 道路整備が地域の活性化やまちづくりと調和するように、地元の取組みと連携し調整を図っていく。

4. 社会動向や経済性に配慮しつつ、積極的に対応する。

5. これまでと同様に、地域との丁寧なコミュニケーションを図っていく。

3-2. バイパス案(山側ルート)と対応方針(原案)

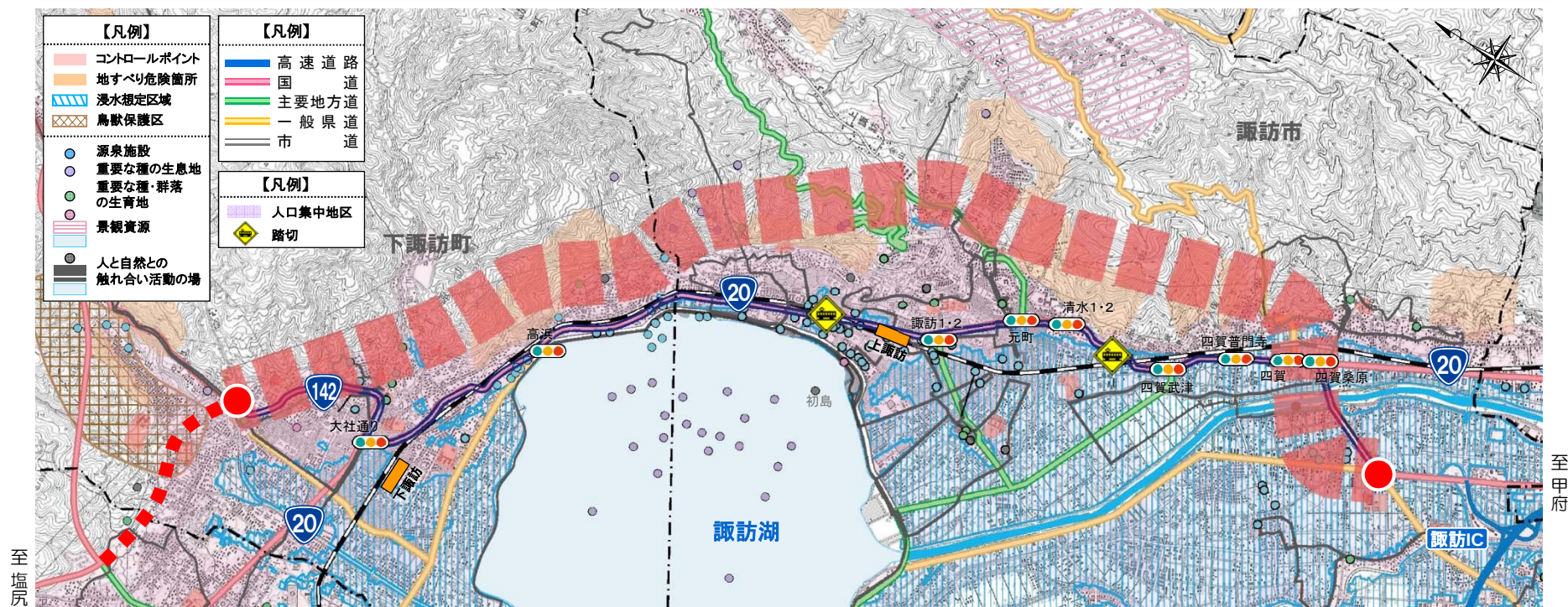
30

【ルート帯の考え方】

- ◆ 地域の課題を解決するための政策目標(「交通の円滑化」「災害に強い代替路の確保」「交通安全の確保」「地域産業の活性化」「安心・快適な暮らしづくり」)を達成
- ◆ 自然環境(貴重な動植物の生息地、大気・水源)や景観等に配慮
- ◆ 地域分断に配慮し、一部市街地や集落を山側に回避
- ◆ コスト縮減に配慮

◇ルート帯案

【案】バイパス案(山側ルート)・・・諏訪市～下諏訪町間を現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案



参考文献:「長野県鳥獣保護区等位置図」(平成24年度 長野県林務部森林づくり推進課)、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 長野県」(昭和56年 環境庁)、「支部報「いわずすめ」No.96(2004年5-6月号)」(平成16年 日本野鳥の会諏訪支部)、「ふるさといきもの里100選」(平成元年 環境庁自然保護局)、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成元年 環境庁)、「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群調査報告書」(平成12年 環境庁)、「信州の文化財」(平成24年9月 財団法人八十二文化財団)、「第4回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成7年 環境庁)、「自然公園等指定状況一覧」(平成19年4月 長野県自然環境保護課)、「日本の重要湿地500」(平成24年9月 環境省 インターネット自然研究所)、「日本の都市公園100選」(平成元年 日本公園緑地協会)、「新日本夜景100選」(平成16年 新日本三大夜景・夜景100選事務局)、「日本の渚・百選」(平成8年 国土交通省)、「温泉源泉の名称及び住所の一覧」(平成25年10月 諏訪保健福祉事務所 食品・生活衛生課生活衛生係)、「全国観光情報データベース」(平成25年10月 社団法人日本観光振興協会)、「各市町観光パンフレット」(平成25年10月 岡谷市・下諏訪町・諏訪市・茅野市)、「諏訪湖一周ジョギングロード」(平成24年9月 長野県健康福祉部健康長寿課)、「長野県統合型地理情報システム しんしゅうくらしのマップ」(長野県企画振興部情報政策課)、「浸水想定区域」(平成24年度 国土数値情報)

3-3. 自治体への意見照会〔対応方針(原案)に対する意見〕

31

◆自治体意見照会の回答(要旨)

自治体名	意 見
長野県	1 一般国道20号 長野県諏訪市～下諏訪町間における関東地方整備局としての対応方針(原案)に同意します。 2 交通の円滑化等の政策目標達成のため、本県としても積極的に取り組んでまいりますので、国による早期事業化が図られますよう、特段のご配慮をお願いします。 3 事業の実施に向けては、大気質、騒音、水質、地下水、地盤沈下等への影響や重要な動植物、生態系や景観への影響に配慮し、地域の生活環境や自然環境への影響をできる限り回避・低減するよう努めていただきますようお願いいたします。
諏訪市	1 一般国道20号(長野県諏訪市～下諏訪町間)における関東地方整備局としての対応方針(原案)について、当市としては同意します。 2 本区間の国による早期事業化が図られますよう特段のご配慮をお願いします。 3 事業実施に向けて、一部、市街地の近傍を通過する箇所にあたっては、大気質、水環境、騒音等の生活環境への影響に配慮するとともに、重大な動植物の生息・生育地等の自然環境に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減するよう努めていただきますようお願いいたします。 さらに、温泉のある観光地で、諏訪湖を望む良好な景観を有する地域であるため、源泉や景観等についての影響も、できる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。
諏訪郡下諏訪町	1 一般国道20号(長野県諏訪市～下諏訪町間)における関東地方整備局としての対応方針(原案)について、当町としては同意します。 2 本区間の国による早期事業化が図られますよう特段のご配慮をお願いします。 3 事業実施に向けて、市街地の近傍を通過するため、大気質、水環境、騒音等の生活環境への影響に配慮するとともに、重要な動植物の生息・生育地等の自然環境に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。 さらに、温泉のある観光地であるため、源泉や景観等についての影響も、できる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。

◆対応方針(案)

- ・バイパス案(山側ルート)とする

〔理由〕

- ・バイパス案(山側ルート)は、政策目標である交通の円滑化、災害に強い代替路の確保、交通安全の確保を図るとともに、生活環境などに配慮し、安心・快適な暮らしづくりや地域産業の活性化に寄与する道路である。
また、家屋への影響、経済性の面でも優れており、意見聴取で得られた地域のニーズにも応えられる。

3-5. 対応方針(案) [まとめ]

33

◆一般国道20号(諏訪市～下諏訪町間)の課題である、交通混雑の解消、自然災害による被害の回避、沿道環境の改善、高速道路ICまでのアクセス改善、救急医療機関への速達性向上、交通事故の減少が図れるバイパスを整備。

計画・ルートの方針

- ⇒ 一般国道20号の諏訪市から下諏訪町間を結ぶルート。
- ⇒ 主要渋滞箇所や踏切、浸水想定区域や地すべり危険箇所、既存市街地・集落等を回避し、生活環境への影響も小さく、高速道路ICへのアクセス性や病院等への速達性の向上を考慮。
- ⇒ 道路構造は切土、盛土、橋梁・トンネルが想定される。
- ⇒ コストの縮減も図られる。

